

【防災センター編】

このシートは、

2022

調査実施分

No.

142

2021

ファシリティコスト分

57,566 人

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度

令和4年度

施設名	防災センター				
-----	--------	--	--	--	--

大分類	行政系施設	中分類	その他行政系施設	施設番号	142
-----	-------	-----	----------	------	-----

所管部課	危機管理課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	共栄586番地	敷地面積	24,568 m ²
	(東部)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成19年度
建物構造	RC	延床面積	1,256 m ²	経過年数	15年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定緊急避難場所
概算更新コスト	502,400 千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	8,727 円/人

3 管理運営データ

利用状況	R1年度	R2年度	R3年度	平均利用者数	管理形態		
	5,113人	2,956人	2,758人	3,609人	指定管理者		
ファシリティコスト 令和3年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		
	収入		支出		金額(千円)		
	利用料等	-	修繕料	149			
	国費	6,517	①施設維持コスト	火災保険料	3		
	道費	-	維持管理委託料	8,905			
	その他	-	敷地借上料	-			
	市費(一般財源)	-	工事請負費	-			
	合計	6,517	その他維持費	-			
	合計		6,517		小計	9,057	
					②施設運営コスト	人件費	-
				光熱水費	1,445		
				運営委託料	-		
				その他運営費	-		
				小計	1,445		
				合計(①+②)	10,502		
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり		
単位コスト	2,910 円/人		182 円/人		8,361 円/m ²		



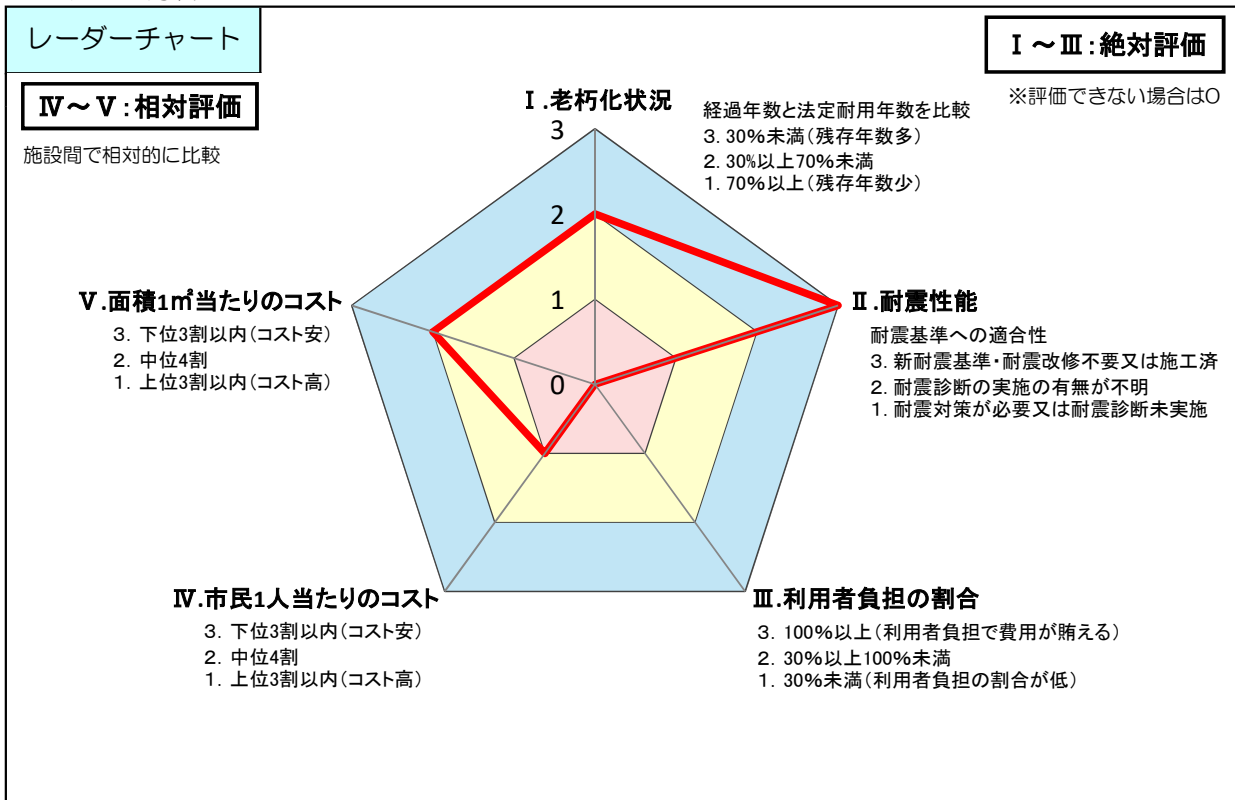
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H27	No.2ボイラー修繕	107	R2	法面補修トラフ清掃	540
H28	No.1ボイラー修繕	107	R2	備蓄土砂種子吹付	846
H28	灯油ホームタンク配管修繕	5	R3	車止め補修	177
H28	No.1ボイラー修繕	49	R3	耐候性大型土のうシート補修	934
H29	非常用発電装置油漏えい調査等	31	R3	根固めブロック置場フェンス補修	3,162
H29	湯沸器修繕	9	R3	ウッドデッキ扉補修	82
H29	積算電力計取替修繕	497	R3	2階パネルヒーター修繕	44
H29	地下タンクゴムパッキン修繕	50	R3	電気給湯器水漏れ修繕	59
H29	非常用発電機用蓄電池交換	594			
R2	非常用発電装置オイル漏れ修繕	99			

5 特記事項

特記事項					
------	--	--	--	--	--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	30 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	182 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	8,361 (円/㎡)

総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>
-------------	---